

し ん じ ゅ 新 樹

2021
37号
2.1

前橋市男女共同参画情報誌

情報誌「新樹」は、水と緑と詩のまち
前橋をイメージし、男女平等の葉が青々と
茂るようにという願いを込めました。

前橋市のホームページからでもご覧になれます

前橋市 新樹

検 索



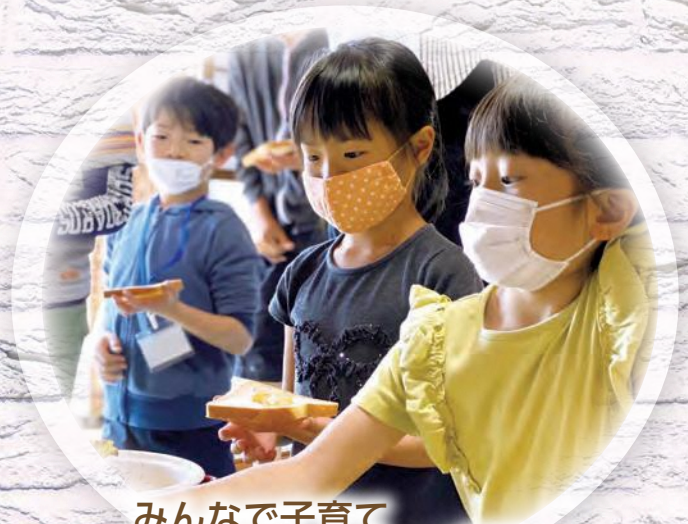
男女共同参画の視点から考える防災… P2-3



男女共同参画セミナー
木山裕策さん…… P4-5



きらり輝くヒトに
インタビュー!…………… P7



みんなで子育て
「だれでも教室」… P6

知ってみよう!
LGBT・SOGIについて… P8

ひとりで悩まず
相談してください

DV相談…………… ☎027-898-6524
男女共同参画相談… ☎027-898-6520

平日(月～金)
9:00～17:00

この情報誌は、市民ボランティア編集委員と前橋市が協働で作成しました。

男女共同参画の視点から考える防災

近年、豪雨や台風などの自然災害が多発し、現在は新型コロナウイルスの感染と自然災害が重なる「複合災害」への備えが求められています。そうした中、女性の視点に立っての支援も重要となってきました。

■いつ起こるか分からない災害に備えるために

前橋市では、令和2年7月31日と8月4日に防災危機管理課主催の指定避難所等応援職員研修が行われました。

研修では、応援職員に選任されている職員が指定避難所等の概要説明をうけ、実際に備蓄してある物品や簡易トイレ、段ボールベッド等の設置方法を確認しました。また、コロナ禍における避難者の受け入れの実演も行われました。

多くの女性職員も参加し、避難所の開設、運営、環境整備の手順を学んでいました。

避難所開設時には、女性の視点に配慮したスペースの確保等を行うことや、女性に対する性暴力の防止と安全確保が必要です。避難所などのプ



研修の様子

ライバシーを守ることが難しい環境では、性暴力が起こる可能性があるからです。

東日本大震災の経験に基づき、熊本地震や九州北部豪雨災害の際は、発災後すぐに性暴力防止のポ

スターを避難所に掲示し、防犯ブザーを配布したり、女性用個室トイレやシャワー室を配置したそうです。

インタビュー ■災害への対応に女性の視点を

防災アドバイザー

高橋みどりさん

前橋市で実際に女性の立場から防災に関わっている本市防災危機管理課、防災アドバイザーの高橋みどりさんにインタビューしました。

「今日からできる」簡単なことを伝えている

市の出前講座などで、女性、子ども、妊婦、乳幼児等を対象に、自分の子育て経験を活かした実践的で生括に密着した指導をしています。

講座では、その地域で過去実際にあった災害の話をして、危機感を持ってもらうようにしています。また、命をつなぐちょっとした工夫や今日からできることなどを伝えています。

前橋市の指定避難所の配置図作成にもたずさわりました。

市内の小中学校68校を避難所にするために2年かけて整備しました。学校内をくまなく回り、女性の視点から配置図を作成しました。

普通の主婦感覚で、避難するための防災グッズは身の回りにあるものでお金をかけずにそろえる、自家用車も防災庫になるのでそこに一袋入れておく、子どもには公衆電話の使用方法を教えておくなど、難しいことを伝えるのではなく、誰もが簡単にできることをお話ししています。

防災でいちばん大切なこと、そ



防災訓練のひとつとして避難所運営ゲームがあります。そのゲームをする回数が多ければ経験値が多くなり、いざという時に冷静に行動できるので、普段から体験しておくと思います。

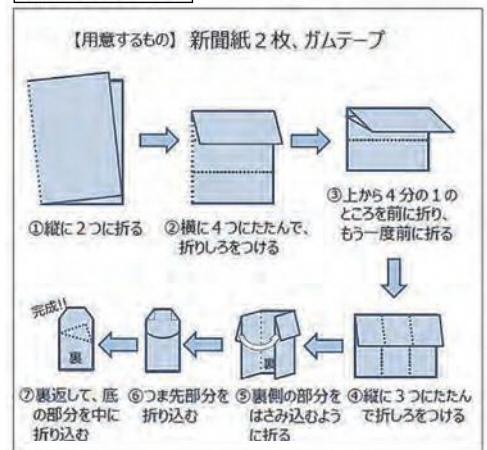
災害への対応に女性の視点を加えることで、より一層適切な支援に繋がると考えます。



災害時の備え
「からだにおいしい食講座」

前橋市健康増進課主催の「からだにいい食講座」に参加

新聞紙スリッパ



しました。今回の講座は「防災食」がテーマでした。

はじめに防災についてのお話があり、前橋市の災害における安全性、災害時の注意点などの説明がありました。

次に、市管理栄養士から家庭での備蓄についてのお話があり、一人当たり1日どれくらいの水や食糧をストックしておくのか、栄養面から具体的に教えていただきました。

災害時の調理の工夫として、パ
ッククッキングというポリ袋に食
材と調味料を入れ、鍋に沸かした
お湯で加熱する調理方法や備蓄食
品を使った献立例についても説明
がありました。

災害時に水が止まった時には洗
い物を減らし、衛生面に気をつけ
て調理することや、どのような物
をどれくらい備蓄すれば良いのか

■元総社地区
「女性防火クラブ」

元総社地区「女性防火クラブ」が
出前講座を受講している様子を見学
させていただきました。

今年度1回目の活動ということで、市の防災アドバイザーが講師となり「フェイスシールドと防護服を作る」という内容で行われました。会場には自治会連合会や消防団など、地域の方も出席していました。

はじめに災害時において気をつけることや避難所などのお話があり、その後にはフェイスシールドと防護服の製作を行いました。

防護服はゴミ袋を使って作るもので、昨年の5月には、クラスターに備えて防災アドバイザーの方たちが実際に450枚作り出したそうです。

制作の時間は和気あいあいとみんな協力しながら進めているのが印象的でした。災害が起きたときに、周りの人とスムーズに協力したり情報交換したりするためにも、このよ



防護服完成！

即席種、カップ麺 1個

水 3ℓ

肉、魚、豆などの缶詰 5缶

パン 1食

レトルトご飯、アルファ化米 7パック

豆腐 (充てん) 1食

干物 (かつお節、桜エビ、煮干しなど) 適量

レトルト食品 2パック

3日分の備蓄食料品 大人1人分の必要なものの一例
出典：農林水産省 特集1非常食(2)

うに防災意識を高めながら地域の方
が交流する機会はとても大切だと感
じました。

防災についての知識を学ぶことで、女性、男性、子どもなど、それぞれの災害から受ける影響について考えることが必要だと思います。

「災害が起こったら誰かが助けてくれる」というのではなく、男女に係なく、それぞれ自分にできることと、自分がやらなければならないことを実践できるよう、日ごろから備えておくことが大切です。

そのためには、今日からはじめられることを毎日少しずつ積み重ねていかなければならないと思います。
(記事…林)

(記事 林)

令和2年度 前橋市男女共同参画セミナー 令和2年10月17日(土)

子育てで深めよう！家族の絆

「コロナ禍で見つめ直したコミュニケーションの力」

苦難が人を成長させる

今日は私の生きてきた道を語る中で、夢を実現すること、病気などの苦難をどう乗り越えるかなど、体験したことをお話ししたいと思います。

若い頃の夢は脚本家になることで、歌うことも好きでしたが、大学を出て就職し、27歳で結婚しました。男の子が4人生まれ、仕事と子育てに追われました。35歳で課長になり、責任も重くなりました。

そんな頃、36歳でがんの宣告を受けました。会社の健康診断で、甲状腺がんと診断されたのです。すぐ手術になりましたが、大事な神経が通っている喉の部分で「もしかすると声が出なくなるかもしれない」と言われました。幸い術後は良好で、再発して

いません。その体験をした後、人生というのは「限られた時間で自分が何をしたいのか」と考えるようになりました。タイマーがカチカチと鳴っているようなものです。残りの時間はわかりません。その時間の中で大事なものは何かと考えてみたら、私の場合は「夢」と「家族」でした。

「home」で歌手デビュー

子どものピアノの発表会やカラオケなどでは歌っていました。コンテストは落ちたら恥ずかしいので受けたことがありませんでした。でもがんにかかってから「限られた時間ならばやれることはやろう」と決めました。

深夜のオーディション番組を受けました。優勝するとオリジナル曲を作ってくれるという企画でした。

一次審査を通り、レコード会社の重役の前で歌いましたが、落選してしまいました。でも、審査員だった多胡邦夫先生が声をかけてくださり、再挑戦して合格することができました。

2008年2月にシングル「home」でデビュー。予想外にヒットし、同じ年の『第59回NHK紅白歌合戦』に出場することができました。

その後、シングル、アルバムなどを出し、好評をいただきました。最初は二足のわらじで会社勤めも続けていたのですが、やはり自分の夢に賭けることにしました。

もちろん普通の歌手のようにコンサートやツアーが常にあるわけ



講師 歌手 木山 裕策さん

1968年10月3日生
大阪出身 家族は妻と子ども4人
2008年2月6日「home」にてメジャーデビュー。オリコン最高位7位を記録。
2008年12月31日念願の「第59回NHK紅白歌合戦」に出場。

ではありません。妻が仕事復帰するタイミングで、歌手と子育てと家事に追われる「主夫」になりました。

主夫の経験からワーク・ライフ・バランスを考える

男の子が4人いると、食べる量が半端じゃありません。ハンバーグを20個作っても足りません。食費が大変です。洗濯機を3回も回さないと洗いきれない日もあります。

父親が家事に追われているのを見て、子どもたちも手伝うようになり、兄が弟の面倒を見るようになり、洗濯物をたたんで片付けるなど、自分のことは自分でできるようになりました。

私自身も、それまで無関心だった男女の役割分担や、ワーク・ライフ・バランスが自然に理解でき、自分なりに克服できたと思います。



「絆の大切さを」と語る木山さん

そんな生活を続けていたのですが、昨年事務所から独立しました。歌手の面でも自分でマネージメントするようになりました。

折からのコロナ問題でコンサートが難しくなり、その代わりにユーチューブなどの配信をしています。機材もごくシンプルなもの、自宅の一角をスタジオにして収録しています。

コンサートは会場にきた方が対象ですが、ネット配信は全国、いや全世界の人が見る可能性があります。実際の、コンサートをしたことのない場所からチャットの書き込みがあります。コミュニケーションの幅がグッと広がりました。

配信がきっかけで島根県の子どもたちと知り合い、それが発展して、今週島根に行ってきました。オンラインでしか会ったことのない子どもたちと田園の中で一緒に歌を歌いました。コロナだからこそ生まれる絆だと思います。

コロナ禍で生まれた絆

コロナ禍での辛い状況の中で考えたことがあります。それは、辛い時こそ「自分と向き合い、自分自身を信じること」「辛かつ



講演の後、「home」と「旅立ち」を熱唱

たら泣いてもいい」「待っていても始まらない」「たくさんの人となることが大切」ということです。また、子どもには挫折した時にどう立ち上がるかを見せることも「親の役割」であることに気づきました。仕事、病気、夢、家庭、様々な問題に直面したからこそ自分が成長できたと感じています。「こんな時代だからこそできることがある」と前を向いて生きていきたい。ひとりではなく、誰かとならでできる。つながっていく絆を大切にすれば、明るい明日を切り開いていけると信じています。

(記事…高坂)

参加者からの声

お話がとてもわかりやすく、誠実な人という印象を持ちました。死に直面した人が、生きる意味を強く意識した時、夢を実現する底知れぬパワーが湧き上がるものなのだと感じました。その夢の実現に妻や子どもたちがそれぞれの立場から協力している姿も素敵でした。

講演後に参加者から質問がありました

Q 私は大学4年生で、来春から社会人。今まで両親に支えてもらってきたので、社会人になったら親孝行がしたい。お子さんがいらっしゃる木山さんに、どういう親孝行をするとうれしいと思うのか、お聞きしたい。

A 子ども自身が楽しそうに人生を生きていく姿を見るのが、親が一番うれしいと思う。あなたが生き生きとしている姿を見せてあげてほしい。

みんなで子育て「だれでも教室」

コロナ禍での休校支援として実施された『だれでも教室』の活動を紹介します。

任意団体「スリージェネレーションズ」代表の山川 利恵子さん、一般社団法人「サイドアットラボ」古井戸 進さんにお話を伺いました。

活動のきっかけ

はじめは、お母さんと子どもの居場所づくりを目的とした「こども食堂」がきっかけです。

コロナウィルス感染症拡大の影響による突然の休校の際に「子どもの行き場がない」というお母さんたちの声を聞き、以前から交流のあった古井戸さんとともに期間限定の休校支援「だれでも教室」を始めました。

学区等は関係なく、誰でも困っている人が対象であったため、市内だけではなく、渋川市や桐生市からも集まりました。

活動内容は

「休校中にかく学習の習

慣を身につけてほしかった」と古井戸さんは言います。

小学校低学年を中心に、感染症対策のため15人の少人数制とし、学生ボランティアによる学習支援を行いました。子どもを預けているお母さんがボランティアに加わってくれたこともありました。

学習時間は最低1時間とし、内容や時間は子どもたちがそれぞれ決めていました。ボランティアだけでなく、上級生が下級生に勉強を教えることもありました。

また、勉強だけでなく、ボランティアによる体験学習も行いました。囲碁教室、ゴム鉄砲作り、パンやうどん作り、時には外で火を起こしてご飯を炊いたことも。普段火を使ったことのない子どもたちに大好評でした。

子どもたちは行動すべてを自分たちで考え、自主性が出てとてもたくましく成長しました。



古井戸さん

山川さん

また、教室のある地域は子どもが少ないため、近所の方から「子どもたちの声が聞こえて、こっちまで元気になるよ」と嬉しい声もいただきました。

5月末には休校が解除され、いったん閉校になった「だれでも教室」ですが、子どもたちやお母さんたちの要望により、夏休みに再開しました。

今後の取り組み

現在は「だれでも教室」を、一時預かりを併設した学童保育として認可が受けられるよう模索中です。学童保育は地域によって格差があるため、入りたくても入れないというケースがたくさんあります。入所の要件などの縛りが少なく、誰でも入れられるような居場所を目指しています。



コロナ禍でも楽しく!!

お話を伺って

最後に山川さんはご自身のことを「ちよつとおせっかい」と言っていました。おせっかいだからこそ考えたついた「だれでも教室」。こんなおせっかいの輪が広まったら素敵ですね。

(記事：ギャニオン智子)

「だれでも教室」からのメッセージ

毎日の生活がいっぱいいっぱいになっていて保護者の方が多いので、もっと気軽に外に出られる環境になると思います。一人で抱え込み過ぎないで、情報を得る手段を探してほしいと思います。

きらり輝くヒトにインタビュー! ✨

演劇活動で群馬から文化を発信

演劇プロデューサー 中村ひろみさん



演劇プロデューサーとして数多くの作品の上演に携わり、群馬の文化シーンをなう中村さんにお話を伺いました。

◎演劇を始めたきっかけは

小さいときにモダンバレエを始め、音楽を学んでステージ芸術に関心を持ちました。

高校の時、文化祭でクラス演劇をすることになりました。演目は「森は生きています」。一年間かけてクラスのみんなで準備し、私は女王様の役を演じました。

その後、明治大学へ進学し、演劇学科を選びました。夫が群馬出身で、結婚を機に1989年から前橋に住みはじめました。

◎演劇をきっかけに人間関係を広げた

初めて住む土地で知り合いもいませんでした。群馬県教育文化事業団のセミナーに参加し、舞台づくりをきっかけに人間関係を広げていきました。

以後、セミナー講師をはじめ、独自の上演企画を多数立



広瀬川空中演劇「朔太郎とおだまきの花」(萩原葉子作)

ち上げました。1992年から「場」づくりから作品を生み出す演劇プロデュース「とろんぷ・るいゆ」を主宰しています。

◎群馬は女性が社会活動をしやすい風土

夫は演劇畑の人ではないので、結婚当初活動を広げる中で葛藤もありました。今では夫を含めた家族が公演を見ている確かな感想を語ってくれます。演劇の専門家ではないだけに、第三者的な視点が貴重です。

群馬で演劇活動をする上でのメリットは、自立した女性への理解があること。また、人間関係が作りやすく、物理的な

距離が近いので集まりやすいことです。

群馬は働く女性が多く、社会的な活動にも理解があると感じます。外部の人間も溶け込みやすいので、仲間や応援してくれる人がすぐできます。車社会なので、自宅や職場から練習場にも容易に集まることのできるのも強みです。これが東京だと、稽古場まで電車を乗り継いで1、2時間はざら。群馬は経済活動や文化芸術を含め女性の社会的な活動がしやすいところですよ。

◎「とろんぷ・るいゆ」とは

フランス語で「だまし絵」と



「紙風船」(岸田國士作) 臨江閣にて

という意味です。

「とろんぷ・るいゆ」は、劇団ではなく、公演ごとに俳優、舞台、照明などのスタッフ・キャストを募集します。企画や演出に興味を持った人が集まるので、思いが強く、完成度も高いです。収支は大変ですが、スタッフの高い技術力と目の肥えた観客のおかげで30年間質の高い演劇作品を作り続けられました。

今後は、見失われた大事なことをもう一度見直す作品を作りたいと思っています。群馬の中にも色々な素材があることを知りました。そういったものを群馬の視点から描きたい。だからといってローカルなことではなく、それがグローバルにつながっているのです。

お話を伺い、新型コロナの影響下で、新しい演劇を模索している中村さんの試みに感心しました。集客が難しくなる中で、文化活動の公益性などの問題を考えさせられました。

(記事:高坂)

知ってみよう! LGBT・SOGIについて

LGBTという言葉はメディアで見かける頻度も増え、ここ数年で広く知られるようになってきました。また、昨年12月に群馬県が LGBTなどの戸籍上同性のカップルを家族と認定する「パートナーシップ制度」を導入しました。

LGBT…性的少数者の総称

性的少数者の中でも代表的な4つのセクシュアリティ、レズビアン(女性同性愛者)／ゲイ(男性同性愛者)／バイセクシュアル(両性愛者)／トランスジェンダー(身体的性と性自認が一致しない人)の英語の頭文字からきています。他にも様々なセクシュアリティを包括するため、LGBTQ+や LGBTsなどと表記されることもあります。

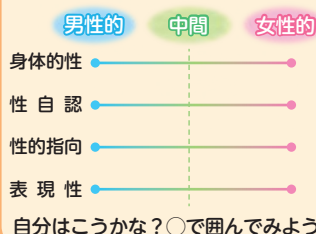
SOGI(ソジ)とは?

SOGIとはSexual Orientation(セクシュアルオリエンテーション)and Gender Identity(ジェンダーアイデンティティ)の頭文字をとった言葉で、性的指向(どんな性を好きになるか)と性自認(自分の性をどう認識するか)のことをいいます。

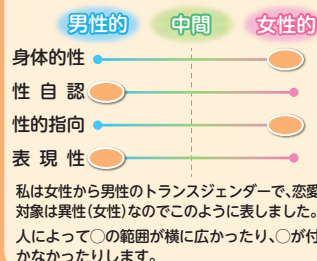
LGBTは性的少数者を指す言葉ですが、SOGIはすべての人が持つ属性です。

SOGIに加えて、身体的な性や性表現(どのような服装・振る舞いか)という4つの属性を男性的か・女性的か・中間かといった軸にすることで、セクシュアリティを表すことができます。性別と聞くと男性・女性の2つと思いがちですが、このような要素で表すと様々なパターンがあることがわかります。

※自分のセクシュアリティ(性のあり方)を知ってみる



※(例)筆者の場合



SOGIハラ(SOGIハラスメント)とは?

SOGIに関して差別や嫌がらせを受けることを SOGIハラと言います。具体的には性的指向や性自認についての差別的な呼称や嘲笑、いじめ・暴力・無視、望まない性別での生活の強要、学校や職場での不当な扱い、アウティング(第三者への暴露)などがあります。

国連で、2016年に「性的指向と性自認を理由とする暴力と差別からの保護」に関する決議が可決し、日本国内でも2020年6月から企業・自治体・団体でパワーハラスメントの防止対策が義務化され、その中でもアウティングの禁止など性的指向・性自認に関する記述が加わっています。(中小事業主は、2022年4月から義務化となります)

SOGIハラは LGBTの人だけでなくすべての人が被害を受ける可能性があります。理解を深めて、自身や周囲の人の SOGIを大事にしたいですね。

(記事: 間々田)

男女共同参画に関する 市民意識調査を実施しました

前橋市では、男女共同参画に関して課題となる事項について調査を行い、現状の市民意識や行政に対するニーズを把握するとともに、男女共同参画推進施策の基礎資料を得るため、「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施しました。

無作為に抽出した市内在住の満18歳以上の方3,000人を対象に調査し、郵送またはweb回答により、約1,200人の方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

この調査結果を、来年度策定予定の次期男女共同参画基本計画に反映させていきたいと考えています。

なお、調査結果は4月頃にホームページへ掲載予定です。ぜひご覧ください。

編集後記



だれでも教室を担当させていただきました。お話を伺って、改めて人と人との繋がりの大切さに気づきました。ご協力してくださった方々、本当にありがとうございました。《ギヤニョン智子》



コロナの影響によるDVや女性の自殺が増えているという報道がある。感染症の流行が「男女共同参画」問題を浮き彫りにした形で、大きな問題提起となっているのではないだろうか。《高坂 均》



災害にいつ襲われるかわかりません。コロナ禍においても、自助、女性目線での共助、公助の連携が重要だと思いました。《中山洋子》



防災について自分自身も学ぶことができました。この事を日々の生活にも活かしていきたいです。取材に協力してくださった方々ありがとうございました。《林 円》



パートナーシップ宣誓やパワハラ防止法など、制度ができることで多くの人知った声や声を上げる人が出てきたり、社会の変化を感じています。《間々田久渚》

発行日: 令和3年2月1日 編集: 「新樹」編集委員

発行: 前橋市男女共同参画センター 〒371-0023 前橋市本町一丁目5-2 職員研修会館1F

直通電話: 027-898-6517 FAX: 027-221-6200 メールアドレス: sankaku@city.maebashi.gunma.jp

《新樹第37号のご意見・ご感想をお待ちしています》